

「東京都オリンピック・パラリンピック教育」実施方針 の概要について

東京都教育委員会

～東京2020オリンピック・パラリンピック教育プログラムの先行実施～

愛称

「よーい、ドン！」

大会組織委員会決定

平成28年4月から全公立学校で実施！

教育の基本的枠組

4つのテーマ

オリンピック・
パラリンピックの
精神

スポーツ

文化

環境



4つのアクション

学ぶ

観る

する

支える

重点的に育成する五つの資質

- ◆ ボランティアマインド
- ◆ 障害者理解
- ◆ スポーツ志向
- ◆ 日本人としての自覚と誇り
- ◆ 豊かな国際感覚

《ボランティアマインド》

- ・社会貢献への意欲
- ・他者を思いやる心
- ・自尊感情を高める

《障害者理解》

- ・多様性の尊重
- ・心のバリアフリー
- ・共に助け合い
支え合って生きていく力

《スポーツ志向》

- ・スポーツへの興味・関心
- ・フェアプレーやチームワークの精神
- ・心身ともに健全な人間に成長

《日本人としての自覚と誇り》

- ・日本人の規範意識
- ・公共の精神等
- ・日本の伝統や最新の文化への理解
- ・世界に発信する力

《豊かな国際感覚》

- ・英語力を身に付ける
- ・コミュニケーションを図ろうとする意欲
- ・世界の多様性を受け入れる力

四つのプロジェクトの推進

- 東京ユースボランティア
- スマイルプロジェクト
- 夢・未来プロジェクト
- 世界ともだちプロジェクト
(Global Friendship Project)

東京ユースボランティア

- ◆ 各学校が取り組んできた社会奉仕の精神や思いやりの心を養う取組を充実・拡大
- ◆ ボランティアマインドを育み、自尊感情を高めていくとともに、障害者理解を促進

取組の例

- ・ 地域清掃、地域行事、地域防災活動、スポーツ大会、障害者・高齢者施設等でのボランティア
- ・ 被災地でのボランティア



スマイルプロジェクト

- ◆ 各学校で行ってきた思いやりの心を育てる取組や、互いを認め合う心を育む教育を充実・拡大
- ◆ 子供たちの障害者への理解を促進するとともに、ボランティアマインドやスポーツ志向の醸成に寄与

取組の例

- ・ 障害者スポーツの体験
- ・ 特別支援学校や特別支援学級の児童・生徒と小・中・高校生との交流
- ・ 障害者施設等の訪問、障害者アートの鑑賞



夢・未来プロジェクト

- ◆ オリンピアンやパラリンピアン等との直接交流により、児童・生徒がオリンピック・パラリンピックの素晴らしさを実感

取組の例

- ・ 「YOKOSOプログラム」 ⇒ オリンピアン・パラリンピアン等による競技紹介、実技指導を実施
- ・ 「Welcomeプログラム」 ⇒ 在日外国人アスリート等による国際理解の促進、スポーツを通じた交流
- ・ 「自分にチャレンジプログラム」 ⇒ パラリンピアン等による障害者スポーツの体験教室等を実施



世界ともだちプロジェクト

- ◆ これまで各学校で行ってきた国際理解教育や国際交流活動を充実・拡大
- ◆ 調べ学習等で多様な国々を幅広く学習し、可能な限り、実際の交流へと深化させていく活動を推進
- ◆ こうした活動を通し、豊かな国際感覚を醸成するとともに、日本人としての自覚と誇りを涵養

取組の例

- ・ 留学生や大使館等との交流
- ・ 海外の学校との手紙やメールの交換等の間接交流
- ・ 海外の学校の児童・生徒との相互交流



各学校における学習の進め方

- ◇学校全体で組織的・計画的に実践
- ◇学校経営方針等に基づき年間指導計画を作成
- ◇特定の教科等に偏ることなく**全ての教育活動**で展開
- ◇発達段階に応じて系統的に実施
- ◇学びを深めるため、**体験や活動を重視**
- ◇年間35時間程度を目安

三つのレガシー

- ① 体験や活動を通して、子供たち一人一人の心と体に、人生の糧となる 掛け替えのないレガシーを残す
- ② この教育で蓄積されるノウハウや人的ネットワーク等を活用し、大会後 も長く続く教育活動として発展
- ③ 子供たちだけでなく、家庭や地域を巻き込んだ取組により、大人たちのボランティアマインドや障害者理解を高め、共生・共助社会を形成

都教育委員会が実施する支援策

- 全校に30万円/校、重点校にはさらに20万円/校を補助
- 学習読本や映像教材の作成・配布
- 教員向けの指導書、実践事例集などの作成・配布
- オリンピック・パラリンピックの歴史や意義、価値について学ぶ教員研修を更に充実
- 各学校の取組をサポートするウェブサイトを構築
- 学校を支援するためのコーディネート機能を構築